

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	九州横断自動車道延岡線 <small>のべおか</small> 嘉島JCT～矢部 <small>かしま やべ</small>	事業区分	高速自動車国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：熊本県上益城郡嘉島町大字井寺 <small>かみましきぐんかしまちおおざいでら</small> 至：熊本県上益城郡山都町城平 <small>かみましきぐんやまとちょうじょうひら</small>			延長	23.0km
事業概要					
九州横断自動車道延岡線 嘉島JCT～矢部は、九州地方中央部を横断する高速道路ネットワークの一部を形成することにより、熊本県と宮崎県の連携強化や災害に強い広域的なネットワークの構築を目的とした事業である。					
H10年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H17年度用地着手	H17年度工事着手		
全体事業費	約623億円	事業進捗率	59%	供用済延長	1.8km
計画交通量	10,300～14,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年 平成26年	
	(事業全体) 1.3 (残事業) 4.5	(残事業//事業全体) 205/699億円 〔事業費：166/657億円〕 〔維持管理費：39/42億円〕	(残事業//事業全体) 915/925億円 〔走行時間短縮便益：712/723億円〕 〔走行経費減少便益：131/131億円〕 〔交通事故減少便益：72/72億円〕		
感度分析の結果					
【事業全体】交通量：B/C=1.2～1.5（交通量 ±10%）【残事業】交通量：B/C=3.9～5.0（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.3～1.4（事業費 ±10%）事業費：B/C=4.1～4.8（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.4（事業期間±20%）事業期間：B/C=4.1～4.6（事業期間±20%）					
事業の効果等					
①広域交通ネットワークの形成 ・熊本市～延岡市間の所要時間短縮により、沿線地域住民の生活圏の拡大や沿線地域間の交流・連携を促進 ・大規模災害発生時の救援ルートの多重化と広域化					
②地域産業の支援 ・沿線地域の特産物運搬の効率性・安全性向上を支援					
③救急医療活動の支援 ・第三次救急医療施設（済生会熊本病院）への救急搬送の支援及び救急搬送時間短縮による救命率の向上					
④災害時の移動経路確保 ・災害リスク箇所の回避による安全性の向上					
⑤生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減（CO ₂ , NO ₂ , SPM削減）					
関係する地方公共団体等の意見					
山都町をはじめとする1市5町で構成される①九州中央自動車道建設促進沿線議会期成会（熊本県側）（会長：山都町議会議長）、熊本市をはじめとする3市9町で構成される②九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会（会長：熊本市議会議長）、山都町をはじめとする1市5町で構成される③九州中央自動車道建設促進期成会（会長：山都町長）により早期整備の要望を受けている。（①平成26年7月、②平成26年7月、③平成26年8月）					
県の意見					
九州横断自動車道延岡線 嘉島JCT～矢部の事業に関する国の「対応方針（原案）」案については、異存ありません。 この道路は、地方に仕事をつくり安心して働くための「下支え」となる重要な社会基盤であり、物流効率化の促進にも大きく資するものです。 今後とも、なお一層の事業推進、一日も早い完成をお願いします。					

